

(第1号議案)

令和4年度事業報告

〈令和4年10月1日～令和5年9月末〉

山梨経済同友会 代表幹事 入倉 要

令和4年度は、5月に新型コロナウイルスが5類に分類されたことから、新型コロナウイルスを過度に警戒しない行動が一気に拡がり、観光業・飲食業といった回復が遅れていた業界も、事業活動が活発になり始めました。しかし一方では、円安や原油・資材の高値からエネルギー価格が高騰し、広範囲に物価も上がり、企業だけでなく家庭生活にも大きな影響を及ぼす状況となりました。加えてコロナ融資の返済が始まる時期ともなり、資金需要に苦しむ会社も散見されるようになりました。

世界に目を向けてみますと、先が見えないロシア・ウクライナ戦争、そして地政学的に我が国への影響が最も大きいと考えられる台湾有事問題など、日本を取り巻く外交環境に大きな危機感を感じる状況となってきました。また、最近報道が目立つ中国経済が停滞局面に突入した様子を勘案すると、こちら日本への影響が懸念されるどころです。

そのような中、令和4年10月から始まった令和4年度の山梨経済同友会の活動は、コロナ禍で停滞した取り組みを「再起動」するべく、令和5年に入ってから代表幹事が先頭に立ち、2つの新しい委員会に組織を一新・再編成してのスタートとなりました。

このうち、『シン・ヤマナシ構築委員会』は、提言部会、リニア・中部横断道部会、勉強会部会を立ち上げ、運営を行ってきました。提言部会では、「経済同友会の本分である提言活動にその重きを置く」という委員会方針のもと、4年ぶりの提言書「シン・ヤマナシ実現に向けて」をまとめ、8月1日、長崎幸太郎知事に手交しました。短期間に集中して創り上げて頂いた提言作成メンバーに感謝します。リニア・中部横断道部会では、山梨大学と共同で「中部横断自動車道北部区間(長坂～佐久・小諸区間)の開通による整備効果」をとりまとめ、7月11日に記者発表を行いました。勉強会部会では、提言部会で提言を詰めていくにあたり、研究したいテーマについて識者を招聘し、知識を深める機会を積極的に提供しました。これをベースに引き続き提言実現に向けた活動につながるものと期待されます。

もう一つの委員会である『山梨ブラッシュアップ委員会』は、他団体との連携事業や継続事業、そして会員間交流や情報発信を行いました。他団体との連携事業では、コロナ禍の捉え方が違うが故に、なかなか足並みがそろわず、活動が出来ない時期が続きましたが、5類となった5月以降はそれまでとは全く違ったス

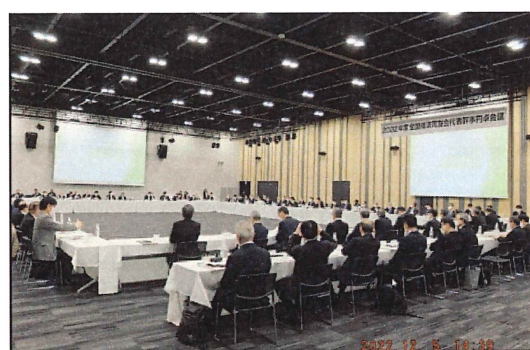
スピード感で活動や事業を進めることが出来るようになりました。女性活躍パートナー部会では、「女性にプラス！パートナー会議」に衣替えし、9月14日開催に至りました。つばさを広げる部会では、「つばさを広げる会」と「次世代育英講座」を二本柱に準備を進め、来期初頭の開催を予定、山梨ネットワーク部会では1月にホームページのリニューアルを予定しています。運営部会では、4年ぶりとなる4月のお花見懇親会や、8月の納涼会など、会員の交流事業を企画運営しました。

令和5年10月からはじまる新年度も、各委員会・部会を中心に会員を巻き込んだ活発な事業活動を望んでいきたいと考えています。

以上



4. 10. 24 令和4年度総会（講師：安宅和人氏）



4. 12. 5 全国代表幹事円卓会議（群馬）



5. 1. 5 新年祝賀互例会



5. 7. 11 中部横断道整備効果・記者発表



5. 8. 1 長崎知事に提言書を手交



5. 9. 14 女性にプラス！パートナー会議